

第六次中期計画書

< 2019年度～2023年度 >

～夢が膨らむ～

シルバー人材センターを目指して!

2019年3月

公益社団法人

町田市シルバー人材センター

第六次中期計画の策定に当たって

第五次中期計画が2018年度（平成30年度）で終了するに当たり、第六次中期計画を現行の6専門委員会委員の皆さま方の数次にわたる真摯な討議により、ここに成案を得ることが出来ましたことに、改めて委員の皆さま方に御礼申し上げます。

本中期計画は、それまでの3ケ年計画に対して5ケ年計画とし、2019年度（平成31年4月）から2023年度までの5ケ年間としています。

内容につきましては、「夢が膨らむシルバー人材センターを目指して」をキャッチフレーズに次の点を主要項目としました。

1. 会員拡大と組織強化
2. 就業機会の確保と拡大
3. 安全・適正就業の推進
4. 会員活動の推進

現下のシルバー人材センターを取り巻く環境は、決して恵まれた状況にはありませんが、行政を初めとする団体・企業・市民の皆さま、更には会員の皆さまのご支援・ご協力により、課題の解決に向け一步一步前進させ、会員の皆さまが幸せな人生を過ごせる一助となるように努めてまいります。

2019年（平成31年）3月 吉日

公益社団法人
町田市シルバー人材センター
会長 長谷川 修治

目次

会長あいさつ ～第六次中期計画策定に当たって～

I	会員拡大と組織強化	1
	入会促進と退会抑制	
	組織強化	
	財政の安定化	
II	就業機会の確保と拡大	3
	就業機会の確保と拡大	
	広報周知活動	
III	安全・適正就業の推進	5
	安全就業の推進	
	適正就業の推進	
IV	会員活動の推進	7
	地域班活動の推進	
	ボランティア活動の推進	

第六次中期計画策定に携わった方々

I 会員拡大と組織強化

シルバーの理念・趣旨に賛同した多くの仲間が、共に働き、共に助け合う。そして、いつまでも、この楽しい組織に所属したい。そのようなシルバーを目指します。入会促進や退会抑制策を積極的に講じ、会員拡大を図っていくとともに、会員の皆様の期待に応えられるよう、内部組織の充実やその役割の検討、更には財政の安定化策等により、センター組織の強化を図っていきます。

1 入会促進と退会抑制

各年度の目標会員数

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
3,100名	3,200名	3,300名	3,400名	3,500名

- (1) 入会説明会について、開催日時や場所、申込み方法等について見直しを行いません。
- (2) 未就業会員について、定期的な状況確認を行なっています。
- (3) 喫茶「知る場」の活用の充実や、「共助会」組織への側面的な支援等、就業だけではなく“仲間づくり”の施策も充実させていきます。

2 組織強化

- (1) 専門委員会について、その数や所掌の見直しを含め、役割の再検討を行います。
- (2) 組織の強化のため、地域班機能を充実していきます。
- (3) 信頼される会員を目指すため、技能の維持・向上を目的とした講習や、派遣事業を含めた就業別マナー研修を企画します。
- (4) 多くの就業者がいる清掃職について、その割当の効率化及び統一的な情報提供等を行なうためにグループ化を行なっていきます。
- (5) 理事会・事務局における目標の共有を強化していきます。
- (6) 様々な事態を想定したリスク管理について検討を行います。

3 財政の安定化

- (1) 収支相償を旨とした事業拡大を持続的に展開し、安定的な財源確保を図っていきます。
- (2) 業務の効率化による経費削減のため、様々な検討を行なっていきます。
- (3) 専門委員会における重点取組等を明確にするため、予算策定プロセスの見直しを行なっていきます。

収入内訳(補助金・会費・事務費の推移)					(単位:円)
	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)
補助金計(国・都・市)	51,988,000	52,136,000	52,865,000	55,872,220	54,418,000
会費	6,812,000	6,604,000	6,456,000	6,408,000	6,194,000
事務費	71,302,572	65,634,476	70,201,596	67,825,996	71,070,858
合計	130,102,572	124,374,476	129,522,596	130,106,216	131,682,858
当期収支	-2,916,886	-590,073	1,967,524	-7,125,594	-3,750,616

※配分金収入・材料費収入・受託収入は、支出と連動するので記載していない。

II 就業機会の確保と拡大

シルバー事業の本旨は、何よりも高齢者に対する就業機会の確保と拡大です。従来の考え方に捉われない多様な就業方法を模索し、配分金等の増収を目指します。また広報周知活動を積極的に展開し、民間からの受託事業を増やすとともに、一般労働者派遣事業の推進や女性向け職種の拡充・拡大を図っていきます。

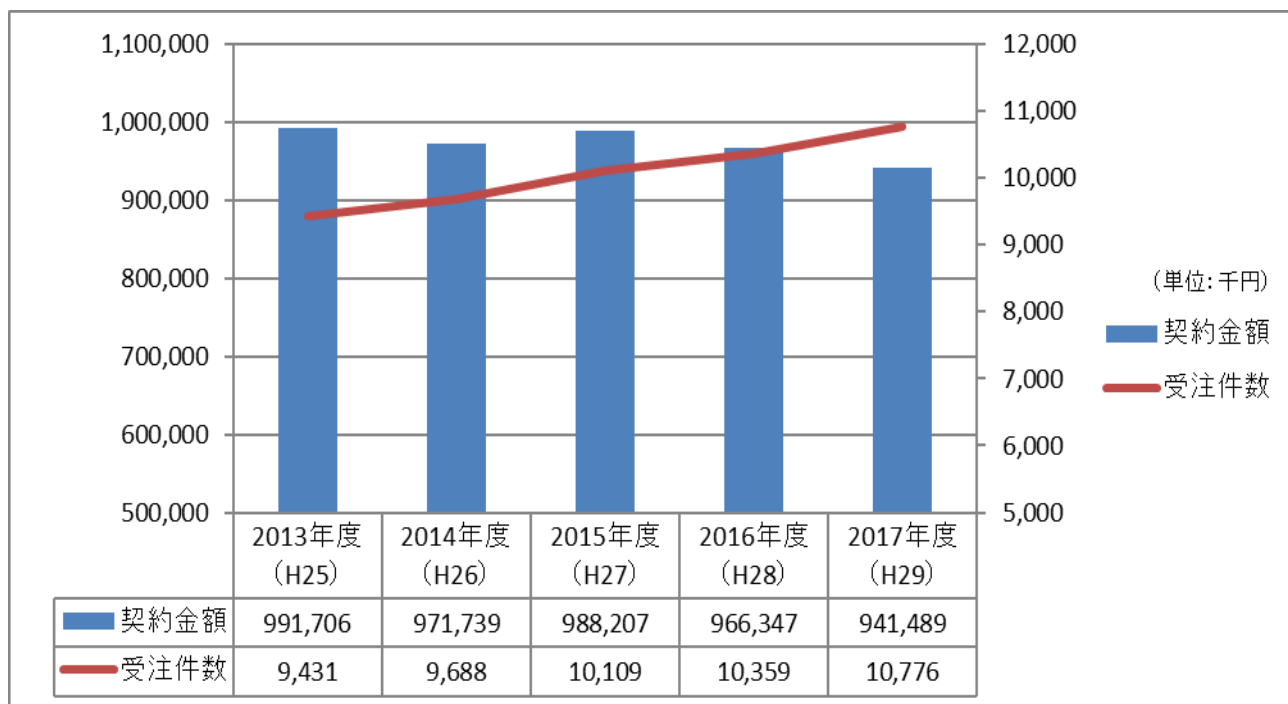
1 就業機会の確保と拡大

各年度の目標契約金額（派遣事業額含）

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1,060百万	1,120百万	1,180百万	1,240百万	1,300百万

- (1) ダブルワーク等の多様な就業方法を模索し配分金等の増収を目指します。
- (2) 新たな公共事業の受注に向け、積極的に行政に対して働きかけを行なっていきます。
- (3) 契約額における民間比率7割を目指すため、全員参加型の「一人一紹介運動」を推進し、派遣事業を含めた新規就業先の開拓を行なっていきます。
- (4) 女性会員の就業について、子育て支援業務等の新規開拓や新たな事業の検討、また既存職種の更なる進出等、就業先の拡充・拡大を図っていきます。
- (5) 全ての会員が就業できるように、グループで働く新たな自主事業を検討していきます。

事業実績の推移



2 広報周知活動

- (1) 「地域ミニコミ誌」の活用等、市民に対する広報活動を拡大するとともに、会員向けの情報提供についても一層の充実を図ります。
- (2) 2020年「設立40周年記念事業」について検討を行います。
- (3) ホームページについて、利用者目線での改善を行なうとともに、情報提供の拡充を図っていきます。
- (4) 屋外作業班について、イメージアップを図るため、ベストの貸与等を行ないます。
- (5) 新たな踊り宣伝部隊の結成を企画します。

Ⅲ 安全・適正就業の推進

高齢者が働くことを通じて、ご自身の健康や生きがいを目的とするシルバーにとって、『安全はすべてに優先する』でなければなりません。そして、適切な就業形態を確保するためには、適正な契約とその履行が必要です。この2つの課題を、共に推進していくことが、事業の円滑な発展に繋がることとなります。

1 安全就業の推進

- (1) 各現場における就業前の準備運動を積極的に奨励していきます。
- (2) 「安全心得カード（オレンジカード）」における緊急連絡先の記入及び携行の徹底を図っていきます。
- (3) 仕事別グループの説明会や各種研修会において、事故発生状況等をその都度報告し、安全就業の周知を図ります。
- (4) 会員の高齢化に伴い多発している転倒事故の防止のために、啓発活動を強化していくとともに、交通安全等を含め専門機関と連携をした研修会を企画します。
- (5) 酷暑期における屋外作業のガイドラインを検討していきます。
- (6) 作業負荷の軽減を図るため、新しい道具等の研究を行ないます。

過去の事故状況					
	傷害事故			賠償事故	計
	就業中	経路途中	小計		
2013年度 (H25)	6	10	16	7	23
2014年度 (H26)	9	5	14	5	19
2015年度 (H27)	16	3	19	6	25
2016年度 (H28)	14	4	18	11	29
2017年度 (H29)	12	10	22	1	23

2 適正就業の推進

- (1) 対象職種における長期継続就業者の交代、並びに現場でのワークシェアリングを組織的に進めていきます。
- (2) 会員の能力に応じた就業、及び発注者に対する公平性を担保するため、除草並びに植木剪定作業等の契約について、請負制度(時間単価からの変更)に順次切り替えていきます。
- (3) 大型受注における事務局の体制と、それに伴う配分金のあり方について検討を行います。
- (4) 「会員の就業要領」の見直し(運転者の年齢等)の検討を行います。

IV 会員活動の推進

本格的な職業生活から引退をした高齢者が、地域で自分たちの組織を作り、自分たちで出来ることを話し合い、創造し、就業に結び付けていく。それが、シルバー人材センターの原点です。

「自主・自立、共働・共助」の理念の下、地域に根差す公益性、公共性の高い団体として社会貢献活動も行いながら、“夢が膨らむシルバー人材センターを目指して” いきたいと思います。

1 地域班活動の推進

- (1) 地域班が、職種班とともにセンター組織の核であることの認識を深めるため、会員全体に向けた啓発活動を推進するとともに、地区担当委員・地域班長連絡会等の充実を図っていきます。
- (2) “地域のことは、地域で解決する” 体制作りを目指すため、地区担当委員～地域班長～会員の情報ルートを確立していきます。
- (3) 地域班機能の充実を図るため、会員と地域班長における連携強化を推進していくとともに、センターとの情報共有を引続き行っていきます。

2 ボランティア活動の推進

- (1) 地域中心のボランティア活動を推進していくために、地域行事への参加や専門機関との連携等、活動場所を含めた内容の多様化を図っていきます。
- (2) 会員の知識を活かした学習支援や、困難を抱えた子育て世帯への支援等、子どもたちへのボランティア活動を行なっていきます。
- (3) “住み良い街づくり”に向け、警察が行う防犯活動の支援等、公益性の高いボランティア活動を推進していきます。

主な公認ボランティアの状況

	ボランティア名	活動内容	人数 (概数)
1	市内一斉「美化清掃」	地域班による市内一斉の美化清掃	220人
2	ホームタウンチーム等 試合運営支援	試合会場での、チケット確認・もぎり、各案内等	45人
3	お囃子(シルバー連町田) 踊り、民謡	福祉施設、幼稚園・保育園、イベントなどでの活動	20人
4	学校支援業務	小中学校の授業・クラブ活動・施設整備等の支援	30人
5	町田市赤十字奉仕団	町田献血ルーム「コンフィー」他の手伝い	15人
6	警察署防犯活動支援	町田・南大沢警察署との協定に基づく防犯活動支援	200人
7	地域班ボランティア	地域班による美化清掃ほか	100人
8	職種班ボランティア	“パソコン何でも相談”等	15人

第六次中期計画策定に携わった方々

	氏名	地域	役職
1	長谷川 修治	本町田	会長
2	松田 良藏	常盤	副会長
3	西原 教子	相模原	常務理事
4	花上 学	事務局	事務局長
5	井上 幸子	忠生	理事、総務委員長
6	守屋 吟治	本町田	総務委員
7	加藤 秀行	小山ヶ丘	総務委員
8	木本 道代	南町田	総務委員
9	蛭川 文明	常盤町	総務委員
10	井島 誠	本町田	理事、適正就業・事業推進委員長
11	野原 早智子	南成瀬	適正就業・事業推進委員
12	荒尾 まり子	原町田	適正就業・事業推進委員
13	生部 誠	本町田	適正就業・事業推進委員
14	秋元 勲	小川	理事、広報活動委員長
15	吉澤 弘一	小山町	広報活動委員
16	永島 直之	玉川学園	広報活動委員
17	江守 壽子	鶴川	広報活動委員
18	加藤 俊夫	原町田	広報活動委員
19	大木 雅信	三輪緑山	広報活動委員
20	新井 紘	野津田町	理事、会員拡大委員長
21	矢口 孝明	つくし野	会員拡大委員
22	杉本 隆夫	木曾西	会員拡大委員
23	門間 良子	南成瀬	会員拡大委員
24	佐藤 五一	相原町	理事、安全管理委員長
25	小山 秀雄	森野	安全管理委員
26	本田 守旦	小山田桜台	安全管理委員
27	鬼頭 昌雄	能ヶ谷	安全管理委員
33	八代 節子	南町田	安全管理委員
24	大村 新吾	玉川学園	理事、ボランティア委員長
25	清水 功	本町田	ボランティア委員
26	井上 ノリ子	忠生	ボランティア委員
27	鈴木 惣三郎	小山田桜台	ボランティア委員
28	鴻巣 峻博	山崎町	ボランティア委員

(敬称略)

第六次中期計画書 (2019年度～2023年度)

～夢が膨らむ～シルバー人材センターを目指して！

発行日 2019年3月
編集 理事会、専門委員会委員
発行 公益社団法人町田市シルバー人材センター
〒194-0022 東京都町田市森野 1-1-15
わくわくプラザ町田内
TEL 042-723-2147 FAX 042-724-0407
http://machida_sjc.com/
E-mail:machida-sjc@ba.wakwak.com